

## 1 基本設計の設計条件

### < 平成29年度 >

#### 【川口市戸塚環境センター施設整備基本計画】

・焼却処理方式、環境保全計画、施設配置・動線計画の検討

### < 平成30年度～令和元年度 >

#### 【川口市戸塚環境センター施設整備基本設計】

・敷地制約条件、施設配置制約条件（法令等）の整理  
 ・計画ごみ質、施設規模、公害防止計画、基本システムの検証  
 ・施設整備計画、解体工事計画、工事発注区分、事業方式、概算事業費及び財源構成計画、事業スケジュールの策定

#### ◆ 公害防止計画（項目・基準値）

排ガス、悪臭、騒音、振動、排水（下水道接続）について、法規制値、及び、朝日環境センター・戸塚環境センターの公害防止基準値を用いて検討

#### 公害防止基準値(排ガス)

項目	基準値	項目	基準値
ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	0.01	窒素酸化物 NOx (ppm)	50
塩化水素 HCl (ppm)	10	ダイオキシン類 (ng-TEQ / m <sup>3</sup> )	0.05
硫酸酸化物 SOx (ppm)	10	水銀 (μg / m <sup>3</sup> )	30

#### ◆ 基本システム

##### ・新焼却処理施設

- ① 万全な排ガス対策
- ② 焼却残さの資源化の推進
- ③ 高度な余熱利用（エネルギー回収率19%以上）
- ④ 災害発生時の自立運転

##### ・新粗大ごみ処理施設

- ① 多様なごみに対応（複数の破砕機の採用）
- ② 資源回収の充実（機械選別システムの高度化）
- ③ 騒音対策の充実化
- ④ 渋滞の緩和（受入供給設備の拡充）

基本計画と同様の処理方式・規模

- ・処理方式：ストーカ方式
- ・施設規模：

焼却	285 t/日
粗大	26 t/日

## 2-2 基本設計

### ◆ 各施設の整備計画

- ・新焼却処理施設  
建屋寸法、設備構成、ピット容量等
- ・新粗大ごみ処理施設  
建屋寸法、設備構成、受入供給方法
- ・環境啓発棟  
設備構成（地域要望）
- ・その他関連施設  
〔特別高圧変電所  
計量棟  
収集事務所 等〕

### ◆ 環境啓発棟整備計画

◀ 現在の厚生会館 ▶  
 ・ごみ焼却の余熱利用

### ◀ 環境啓発棟 ▶

- ・環境啓発
- ・ごみ焼却の余熱利用
- ・健康増進

#### 仕様案

- ・環境啓発施設
- ・温浴施設（お風呂）
- ・屋内プール（健康増進用、児童・幼児用）
- ・大広間、多目的室
- ・外構（植栽、駐車場 等）

### ◆ 解体工事計画（東棟・粗大 等）

- ・ダイオキシン類等の飛散・流出による周辺環境への汚染防止
- ・解体廃材や汚染残さの適正処理
- ・解体作業に従事する作業者の安全確保

## 3 整備運営計画

### ◆ 工事発注区分

一括発注：新焼却処理施設建設、新粗大ごみ処理施設建設、環境啓発棟建設、その他関連施設建設  
 分離発注：収集事務所建設、旧職員住宅解体、排水処理施設建設

### ◆ 事業方式

検討項目	公設公営	DBO	DBM+O
経済性	×	△	○
市民サービス	○	△	○
的確な維持管理	△	○	○
経費の平準化	×	○	○

公設公営とDBOの利点を備えた  
**DBM+O方式を採用**

### ◆ 市内事業者活用手法

- ・市内事業者が単独で実施できる工事は分離発注
- ・事業者選定基準として市内経済貢献額等を設定
- ・市内経済貢献額等を担保する手法を採用

- ・公設公営  
…民間事業者が設計・建設、市が運営（維持管理・運転）
- ・DBO (Design Build Operate)  
…民間事業者が設計・建設・運営（維持管理・運転）
- ・DBM+O (Design Build Maintenance + Operate)  
…民間事業者が設計・建設・維持管理、市が運転（役務委託）

## 2-1 基本設計

### ◆ 施設配置・動線計画（案）

戸塚環境センターを構成する各施設の建築面積や幅員等を設定し、基本的な考え方に基づき、施設配置・動線計画（案）を作成

#### ◀ 構成施設 ▶

- ・新焼却処理施設
- ・新粗大ごみ処理施設
- ・環境啓発棟
- ・特別高圧変電所・駐車場
- ・計量棟
- ・場内道路 等

#### ◀ 基本的な考え方 ▶

- ① 動線の適切な分離
- ② 車両滞留スペースの確保
- ③ 車両滞留を踏まえた計量棟配置
- ④ 将来的な工事スペースの考慮
- ⑤ 搬入車両等の騒音・振動対策
- ⑥ 施工手順の考慮
- ⑦ 近隣住民に配慮した煙突配置



施設配置・動線計画(案)

## 4 概算事業費及び財源構成計画

### ◆ 概算事業費

◀ 建設費：約498億円 ▶

- ・新焼却処理施設
- ・環境啓発棟
- ・新粗大ごみ処理施設
- ・埋設廃棄物対策 等

◀ 運営管理費：約208億円 ▶

- ・DBM+O方式（焼却20年・粗大24年）

### ◀ 建設費：約498億円 内訳 ▶

- ・循環型社会形成推進交付金：約128億円
  - ・一般廃棄物処理事業債：約310億円
  - ・一般財源（環境施設整備基金）：約60億円
- 交付税措置分 約132億円  
見込み

- ◆ 交付金・基金を活用し、歳出の平準化
- ◆ 高効率発電による売電収益

## 5 事業スケジュール

### 事業スケジュール（案）

年度	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
(1) 計画等業務	① 基本設計 ② 事業者選定	準備	事業者選定									
(2) 環境影響評価	① 評価書作成											
(3) 新粗大ごみ処理施設建設工事							建設工事	試運転				
(4) 新焼却処理施設建設工事									建設工事			試運転
(5) 環境啓発棟・厚生会館										建設工事		解体工事